

市政について 問う！

一般質問

第十回（九月）定例会では、十六人の議員が市政について質問しました。



議員名	主な質問項目	掲載頁
村木 豊	沼津市こども議会の開催／災害時の学校と地域の連携	6
堤 飛鳥	災害発生時の情報伝達／特定空家等となる前の対策	6
大草 満	学校図書館への新聞配備／市立図書館と学校図書館等との連携	7
深田 昇	障がい者歯科／部活の地域展開／商業施設への投票所設置	7
渡部一二実	QommonsAI 導入／グリーンインフラ拡大	7
高橋 達也	沼津の選挙について	7
加藤 明子	アートのまち沼津／これからの駅北エリア／受動喫煙防止策	8
小澤 隆	学校跡施設の活用／台湾高雄市との交流	8
久保田吉光	興国寺城跡の整備基本計画と便益施設について	8
佐野 博一	高齢者福祉における 2025 年問題への対応	8
小泉 宣子	若者の結婚支援／带状疱疹ワクチン予防接種	9
片岡 章一	自治体 DX の推進／市民参加型健康増進の取組／公園の取組	9
川口 慶	道路等インフラ維持管理／新しい地域交通導入	9
高橋 秀子	熱中症から命を守るための支援について	9
山下富美子	夜間救急医療センター使途不明金問題／門池公園ため池の安全対策	10
平野 謙	多文化共生の取組について	10

※議員名の下にQRを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像を視聴できます。

※文面中の波線（~~~~~）については、P10の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら

同報無線の戸別受信機を 個人宅に設置する考えは

問 災害発生時の情報伝達手段として、同報無線の戸別受信機を個人宅に設置する考えは。

答 危機管理監／現在、本市では地区センターや学校等の公共施設のほか、自治会館や老人ホームなどに戸別受信機を設置している。戸別受信機で同報無線放送を受信するためには、業者によるエリア設定やID付与などのシステム設定が必要となるため、これまで業者は、自治体の事業に限定して戸別受信機の製造や設置を行ってきた。しかしながら、市民の様々な要望がある中で、本市と

しても、戸別受信機を個人宅で利用できるよう、今後協議を進めていく。

問 特定空家等を未然に防ぐ取組は。

答 都市計画部長／本市では空き家に関する相談窓口を設置し、建築・法律等の専門家につなげる体制を整備しているほか、県と共同でワンストップ相談会を開催している。また、問合せに対しては、空き家の除却に係る補助制度や空き家バンク制度等を紹介するとともに、管理不全な空き家については、所有者等に対し適正な管理を促す文書を送付するなど

堤 飛鳥



沼津市こども議会を開催する考えは

問 こども施策への意見反映の場として、沼津市こども議会を開催する考えは。

答 福祉事務所長／子どもが意見を表明する機会については、多様な状況に置かれた子どもや若者が安心して意見を表明できるよう、十分な配慮や工夫の上、個々の状況に応じた手法を検討する必要があると考えている。そのため、現在、どのような手法を子どもや若者が求めているのか、機会を捉えてアンケートを実施しており、その結果や子ども・子育て会議委員等の意見のほか、他市町

の実施事例なども踏まえ、子どもや若者の意見表明の手法について検討していく。

問 大規模災害の発災に備えた、学校と地域の連携の取組は。

答 教育次長／本市では、中学校区ごとに、学校・地域・保護者・行政で構成する防災教育会議を設置し、教職員が地域の人と共に避難所の運営に携われるよう情報共有などを行っているほか、コミュニティ・スクールの会議等で避難所運営マニュアルを共有するなど、地域防災における共助の意識向上を図っている。

村木 豊

